



2017年3月期第3四半期

# 連結決算の概要

## テルモ株式会社

代表者                      代表取締役社長              新宅 祐太郎  
問合せ先責任者      広報室長                      大曲 昌夫

**TEL : 03-6742-8550**

**E-mail : [kouhou\\_terumo01@terumo.co.jp](mailto:kouhou_terumo01@terumo.co.jp)**

**URL : <http://www.terumo.co.jp/>**

2017年2月9日

# 2017年3月期 第3四半期 決算概要

テルモ株式会社  
常務執行役員 IR・広報室担当  
北畠 一明

2017年2月9日

## 為替の影響を除き、売上・営業利益ともに増加

(億円)

	15年度 Q3累計	16年度 Q3累計	増減率	為替除く 増減率
売上高	3,960	3,744	-5%	+4%
粗利益	2,146 (54.2%)	2,053 (54.8%)	-4%	+6%
一般管理費	1,272 (32.1%)	1,219 (32.6%)	-4%	+5%
研究開発費	233 ( 5.9%)	245 ( 6.5%)	+5%	+13%
営業利益	641 (16.2%)	589 (15.7%)	-8%	+4%
(のれん等償却除く)	794 (20.1%)	731 (19.5%)	-8%	+4%
経常利益	610 (15.4%)	522 (13.9%)	-14%	
純利益	435 (11.0%)	318 ( 8.5%)	-27%	
期中平均レート	USD 122円	107円		
	EUR 134円	118円		

- 売上高 : 為替を除き、心臓血管の海外が二桁伸長を継続し全体を牽引
- 営業利益 : 心臓血管を中心に高収益品の拡大、品質システム改善コスト減で粗利率改善
- 経常利益 : 為替差損37億円へ縮小
- 純利益 : 仏ART社・共同開発解消に伴う特損計上

# 営業外・特損益・法人税

(億円)

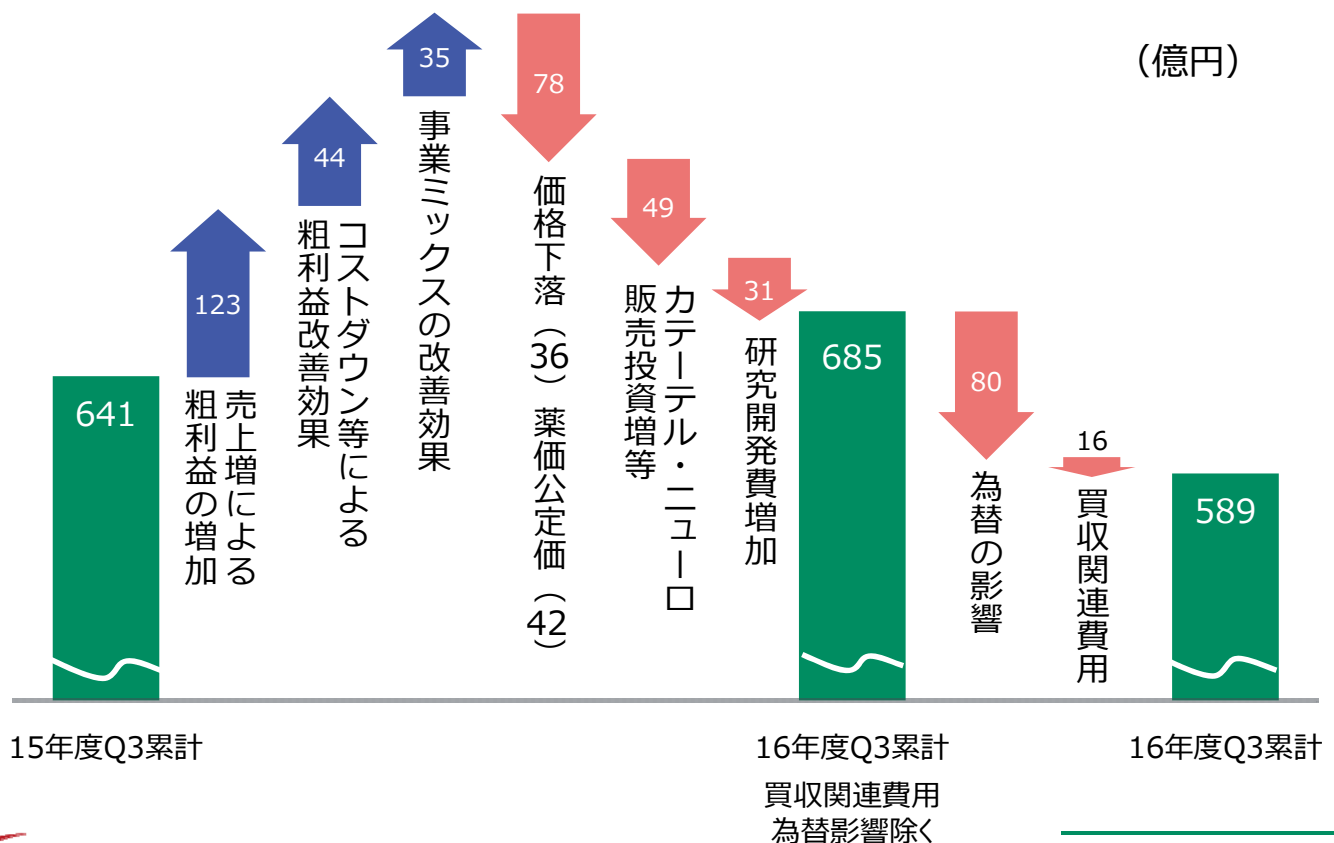
	15年度 Q3累計	16年度 Q3累計	
営業利益	641	589	増減率 -8%
営業外損益	-31	-67	為替 Q2累計 Q3 累計 15年度 -24 0 -24 16年度 -66 +29 -37
経常利益	610	522	増減率 -14%
特別損益	+43	-76	15年度 幡ヶ谷土地売却 +44 16年度 ART社共同開発解消 -70
税前利益	653	446	増減率 -32%
法人税等合計	-218 33%	-128 29%	過去評価減したオリンパス株式の 税効果
純利益	435	318	増減率 -27%



3/13

# 営業利益増減分析

(億円)



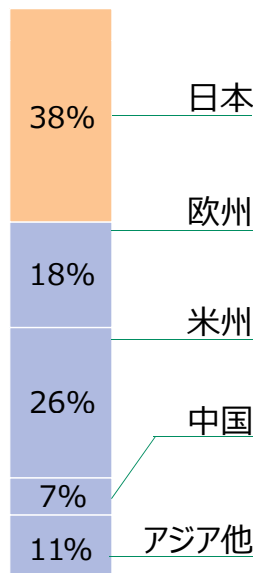
4/13

# 地域別売上高

■ 16年度Q3累計  
■ 15年度Q3累計

## 売上高

100% = 3,744億円



## 売上額前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
1396 1404	-1%	ニューロや輸液ラインが好調維持。薬価公定価改定、コロナリー治療・新製品の売上一巡
683 764	-11% (3%)	心臓血管は好調維持(+7%)。ホスピタルはグローバルD&D(B2B)継続拡大、基盤医療器の低収益事業縮小
989 1087	-9% (5%)	心臓血管全般で好調を維持(+10%) 血液は新価格適用の影響
253 260	-2% (17%)	カテーテルに加え、ニューロ、CV、血管、全ての心臓血管事業が二桁伸長し牽引
422 444	-5% (9%)	ホスピタルは留置針等が好調維持。心臓血管はカテーテルが牽引し、二桁伸長を継続

( ) 内は為替影響除く

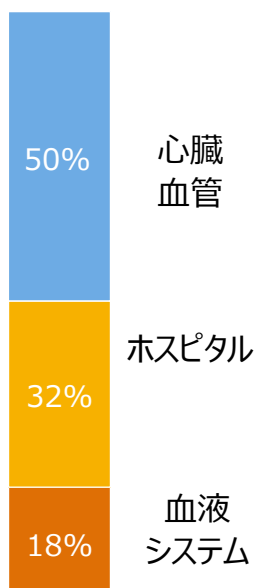


# カンパニー別売上高

■ 16年度Q3累計  
■ 15年度Q3累計

## 売上高

100% = 3,744億円



## 売上額前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
1866 1932	-3% (8%)	海外カテーテルに加え、ニューロがグローバルで二桁伸長し全体を牽引
1190 1228	-3% (0%)	欧州・中南米は低収益事業縮小を継続。 中国含むアジアは二桁伸長。日本は輸液ラインの好調が、造影剤販売終了を相殺
687 800	-14% (-2%)	米国血液センター向け製品の新価格の影響はQ3で一巡。中東・ロシアにおけるマクロ経済のマイナス影響

( ) 内は為替影響除く



## 心臓血管：堅調な実ビジネス。買収関連費用等の影響を受ける

(億円)

	15年度 Q3累計	16年度 Q3累計	増減率	主なトピック	金額
( ) 内は為替影響除く					
売上高	1932	1866	-3% (8%)	為替のマイナス影響	- 230
				日本：公定価改定の影響、及び前年同期にローンチした कोरोナリー治療デバイス新製品の売上増が一巡。ニューロは二桁成長を継続	- 4
				海外：カテーテル及びニューロが二桁伸長 CVや血管も好調維持	+167
事業利益(率)	478 (25%)	475 (25%)	-1% (20%)	高収益なアクセスデバイスや कोरोナリー治療デバイスが牽引 ミサゴのリコール及び Sequent Medical 買収の影響	- 25



7/13

## ホスピタル：収益性の改善基調を維持

(億円)

	15年度 Q3累計	16年度 Q3累計	増減率	主なトピック	金額
( ) 内は為替影響除く					
売上高	1228	1190	-3% (0%)	為替のマイナス影響	- 38
				海外：欧州・中南米は低収益事業縮小	- 10
				中国・アジアで留置針等が牽引	+15
				日本：輸液ラインなどが伸長	+9
				薬価改定、造影剤代理販売終了	- 17
事業利益(率)	182 (15%)	178 (15%)	-3% (-2%)	在庫評価差や、金利低下による年金コスト増の影響を跳ね返し、事業利益率は改善基調 Q1:14% ⇒ Q2累計:14% ⇒ Q3累計:15%	



8/13

# 血液システム：収益性が着実に改善傾向

(億円)

	15年度 Q3累計	16年度 Q3累計	増減率	主なトピック	金額
売上高	800	687	-14% (-2%)	( ) 内は為替影響除く	
				為替のマイナス影響	- 97
				米・血液センター向け製品の価格適用	- 26
				中東・ロシアのマクロ経済の影響	- 5
				欧州・中南米中心にアフレス治療が伸長	+ 10
事業利益(率)	143 (18%)	103 (15%)	-28% (-21%)	事業利益率は改善基調 Q1:12% ⇒ Q2累計:14% ⇒ Q3累計:15%	

## Q3 主なトピックス

### 全社

- 被災地支援が評価され、弾性ストッキングが「健康医療アワード2016」を受賞（10月）
- 国際会計基準（IFRS）の適用を発表（11月）
- 5カ年の中長期成長戦略を発表（12月）



### 事業

- アームイン血圧計をリニューアル発売  
データ通信機能付き追加（10月）
- St. Jude社・Abbott社の止血デバイス事業等買収を発表（12月）



# 16年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	ローンチ	領域	製品	地域	ローンチ		
心臓	DES (Ultimaster)	◎★	仏	済み	CV	遠心ポンプ装置	垂	済み	
	DES (Ultimaster) 4.0mm品種追加	◎★	日	済み	再生	ハートシート	★	日	済み
イメージング	IVUS	◎★	日	Q4 予定	D&D	皮内投与デバイス	★	日	FY17 予定
ペリフェラル	PTAバルーン (膝下, RX/OTW)		日・米・欧	日米:済み		癒着防止材	★	日	Q4 予定
	PTAバルーン (膝上・下両用, RX/OTW)		日・米・欧	日米:済み	DM	血糖計 (フィットスマイル)		中	FY17 予定
	PTAバルーン (膝上, RX/OTW)		日・米・欧	済み	血液	自動製剤化システム	★	日	済み
脳	プロテクションデバイス		欧	FY17 予定					
オンコロジー	放射線塞栓ビーズ (Quirem)	★	欧	FY17 予定					

◎ 業績貢献 大、★ イノベーション度 高



## 株式持合いの解消、及び自己株式取得500億円

### ■オリンパス社との業務提携継続

- 両社の取引拡大 (内視鏡向けガイドワイヤー等)
- 株式持合いなくとも業務提携を深められると両社確認

### ■オリンパス社株式の売却

- 16年度Q4中に全株売却予定、特別利益を計上する見込み

### ■500億円 (上限) の自己株式取得



# 業績予想の修正

- 売上：止血デバイス事業買収時期のズレ及び実勢を反映
- 前回修正以降に発生した買収案件関連コスト分につき修正
- 純利益は変更なし

- マイナス ART社との共同開発契約の解消  
買収案件関連コスト
- プラス オリンパス社株式の売却益

(億円)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益
従来予想	5,170	750	650	475
今回修正予想	5,100	710	620	475
修正額	-70	-40	-30	-

想定為替レート

	従来	見直し		従来	見直し
Q4	USD : 105円	→ 110円	通期	105円	→ 107円
	EUR : 115円	→ 120円		116円	→ 118円



# 2017年3月期 第3四半期決算 補足資料

## セグメント別売上概況

(単位:百万円)

%=前年比

	2016年3月期 第3四半期累計			2017年3月期 第3四半期累計					
	日本	海外	合計	日本	%	海外	%	合計	%
TIS	27,263	105,434	132,698	26,371	-3.3%	102,282	-3.0%	128,654	-3.0%
ニューロバスキュラー	1,756	17,402	19,158	2,100	19.6%	17,558	0.9%	19,659	2.6%
CV	7,238	23,897	31,135	7,435	2.7%	21,546	-9.8%	28,982	-6.9%
血管	1,507	8,741	10,249	1,438	-4.6%	7,837	-10.3%	9,275	-9.5%
心臓血管カンパニー	37,765	155,476	193,241	37,345	-1.1%	149,225	-4.0%	186,570	-3.5%
基盤医療器	37,279	21,411	58,691	38,178	2.4%	19,023	-11.2%	57,201	-2.5%
D&D	41,012	4,047	45,059	39,456	-3.8%	3,912	-3.3%	43,368	-3.8%
DM・ヘルスケア	15,965	3,060	19,026	15,880	-0.5%	2,528	-17.4%	18,408	-3.2%
ホスピタルカンパニー	94,257	28,520	122,777	93,515	-0.8%	25,464	-10.7%	118,979	-3.1%
血液システムカンパニー	8,410	71,561	79,972	8,577	2.0%	60,114	-16.0%	68,692	-14.1%
その他	-	-	-	152	-	-	-	152	-
計	140,433	255,558	395,991	139,591	-0.6%	234,803	-8.1%	374,394	-5.5%

(期中平均為替レート)

(USD1=¥121.74)

(EUR1=¥134.41)

(USD1=¥106.60)

(EUR1=¥117.98)

## キャッシュ・フロー計算書 (要約)

	2016年3月期 第3四半期累計	2017年3月期 第3四半期累計
営業キャッシュ・フロー	51,641	53,884
投資キャッシュ・フロー	△ 13,920	△ 51,394
フリーキャッシュ・フロー	37,721	2,489
財務キャッシュ・フロー	△ 24,539	112,690
現金及び現金同等物の換算差額	△ 1,308	332
現金及び現金同等物の増減	11,872	115,512
現金及び現金同等物の期首残高	176,662	146,927
現金及び現金同等物の期末残高	188,534	262,439

## 参考情報

	2016年3月期 第3四半期累計	2017年3月期 第3四半期累計	2017年3月期 見通し
研究開発費	23,261	24,519	35,500
設備投資額	21,260	24,776	35,000
減価償却費	33,228	32,428	44,000
一株当たり当期純利益(円)	115.31	87.67	130.86

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。